

【Insectopia(インセクトピア)】とは: insect(虫)とutopia(理想郷)を掛け合わせた造語
『蟲たちを含む、地球上に生きる全ての仲間が快適に生きることができる世界』を創るため、SHELLグループがお届けする情報発信ニュースレター。



害虫の存在次元をアートを通して考える公募展 『害蟲展season5』開催！

今年で5回目を迎える害蟲展、出展応募総数は過去最高の100作品を超えました。イベント会場は、東京、大阪、そして新たに九州大学総合研究博物館（福岡）の3つの会場で開催されます。これまでになかった特別審査員賞や参加型のイベントなど、5周年ならではの企画をしています。

害蟲展とは

害蟲展は、アートを通して地球上に住まう人間と生物の在りかたを考え、新しい関係を創造するムーブメントを創出できるきっかけ作りとして、8thCAL株式会社が主催する展示会です。人間にとって「不都合」「不快」「不利益」な一面だけに目が行ってしまいがちな、いわゆる「害虫や害獣」の美しい点・有益な側面・生命の循環や存在次元に焦点を当てて制作された作品を広く公募、展示をしています。

オンライントークイベントが開催されました

害蟲展開催前の事前トークイベントが開催されました。害蟲展season1から審査員の自在置物作家・満田晴穂さんと、害蟲展season5の特別ゲスト審査員の昆虫大学・学長の沙東すずさんが登壇し、『虫とアートの相関性』というテーマでトークセッションがおこなわれました。ナビゲーターとして、害蟲展スポンサーの株式会社54代表・山口豪志さんと弊社代表・岡部が進行し、参加者は40名を超え、最後まで賑やかなトークイベントとなりました。

5周年の特別企画～その①～

今年は『5周年特別審査賞』が設けられています。審査員ひとりひとりの選りすぐりの作品に賞が授与されます。

- ・最優秀賞（1点）：賞金30万円・展示・図録掲載
- ・優秀賞（1点）：賞金10万円・展示・図録掲載
- ・5周年特別審査員賞（7点）：副賞・展示・図録掲載 他

5周年の特別企画～その②～

『たてのさんと、標本描くぞ！』福岡会場にて開催
九州大学総合研究博物館での開催に併せ、害蟲展season1から審査員の生物画家・館野鴻さんと一緒に、九大博物館秘蔵の昆虫標本を顕微鏡やルーペで昆虫の構造美や機能美をじっくり観察しながら描くワークショップが開催されます。九大博物館・准教授であり、同じく害蟲展の審査員の昆虫学者・丸山宗利先生もアシスタントとして参加します。5周年ならではのスペシャルなイベントになること間違いないので、この機会に是非ご応募ください！

詳細・参加申し込みはこちら⇒<https://ur0.jp/xsXJl>



※害蟲展の会期情報は裏面『Information』をご参照ください。

害蟲展 SEASON 5

小学3年生～高校生まで！

スペシャルワークショップ

『たてのさんと、標本描くぞ！』 no charge!!! ¥0

2024年9月28日(土)
13:00～16:00

九州大学総合研究博物館
(福岡市東区箱崎6-10-1)

講師：館野 鴻さん
(生物画家・害蟲展審査員)

supported by: 九州大学総合研究博物館 The Kyushu University Museum

8thCAL 完全無料



シェルグループSNS「X(旧Twitter)」始動！ 最新の情報をお届けします！

8/1よりシェルグループのSNS「X(旧Twitter)」を始動します！シェルグループとして、シェル商事(株)と8thCAL(株)に関わるトピックスや有益な業界情報など、幅広い内容の投稿を展開していきます。

シェルグループ X(旧Twitter)
@shell_group
<https://ur0.jp/0dwBZ>



↓その他の運用中SNSはこちら！

◆8thCAL(株)
・Facebook
@8thcal Inc.
<https://ur0.jp/U5Mrt>



◆害蟲展
※8thCAL(株)にて運用中

・X(旧Twitter)
@8thCAL_exhibi
<https://ur0.jp/CmCdG>



・Instagram
@ecosystem.exhibition
<https://ur0.jp/WJBYS>



これまで会社HPに掲載していたトピックスやNEWSは元より、企業としての新しい取り組みなど、様々な情報発信をお届けします。

昨今では、トコジラミに関する被害や目撃情報がSNS上で多く投稿されていますが、誤った情報も多く拡散され、人々の混乱を招く原因となっています。私たちはペストコントロール業を担う立場として、正確な情報を発信していく必要があります。

シェルグループは「人と自然が共存できる、都市衛生の未来を創造する」をミッションに掲げ、『啓蒙』『教育』『予防』『早期発見』『駆除』の事業活動をおこなっています。「正確な情報の発信」は啓蒙活動として、とても重要な役割を担っています。私たちは、新しい情報発信ツールも活用することで時代の変化に対応しながら、より多くの方々に有益な情報を提供していければと考えています。今後も引き続きご期待ください。

今月のInsect



写真/解説
中峰 空
8thCAL技術顧問
真面公園昆虫館館長



サトセナガアナバチ (里背長穴蜂)

八子目セナガアナバチ科
学名: Ampulex dissector

体長14~18mm、体は金属光沢を持つ緑青色で後脚腿節の大部分が赤褐色を呈する美しい狩り蜂。ゴキブリに毒液を注入して動きを止め、触角を啜って引っ張り歩かせて樹皮の隙間などの狭い空間に運び込む。母蜂はゴキブリの中脚腿節に卵を一つ産みつけた後、隙間の入り口に詰め物をして獲物と我が子を隠し、次の獲物を狙う。

Information

●最新リリース情報

シェルグループの新サービス「トコジラぬ」をリリースしました！
→<https://ur0.jp/vd5EN>



●Pick up 展示会・セミナー情報 害蟲展 season5 (※8thCAL主催)

【東京】MATERIO base
会期: 2024年8月31日(土)~9月12日(木)

【大阪】真面公園昆虫館
会期: 2024年9月18日(水)~9月23日(月)

【福岡】九州大学総合研究博物館
会期: 2024年9月28日(土)~10月8日(木)



Insectopia インセクトピアの配信登録はこちらから！

QRコードを読み取り後、登録フォームよりご登録ください。
ニュースリリースや採用情報、イベントなどの最新情報を配信中です。

